

事務事業名	高齢者運転免許証自主返納支援事業			担当	市民生活部 市民生活課 交通安全係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり		増補版施策名			
施策名	8	交通安全の推進		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成28年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市高齢者運転免許証自主返納支援事業実施要綱						
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費		8. 交通安全対策費		
事業概要	平成28年度から、高齢者の運転による交通事故を減らすとともに、公共交通の利用促進を図るため、運転免許証を自主返納した満65歳以上の方を対象にいちごタクシーとコトベリー号の共通無料乗車券を交付。 平成29年度から、民間タクシーの基本料金を補助するタクシー券（月2枚）の交付を開始した。 平成31年度から、いちごタクシーといちごバスの共通無料券の有効期限を無期限に拡充し、本人以外の使用を防ぐため顔写真入りの共通無料券を交付する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 いちごタクシーといちごバスの共通無料乗車券を交付。（利用期限1年間） 民間タクシーの基本料金を補助するタクシー券（月2枚）を交付。（福祉タクシーとの重複はしない） 31年度計画 平成30年度と同様に、運転免許証自主返納者にタクシー券（月2枚）を交付する。 平成31年度から、運転免許証自主返納者に、いちごタクシーといちごバスの共通無料券の利用期限を無期限とし交付する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 無料券申請者</td> <td>人</td> <td></td> <td>141</td> <td>193</td> <td>189</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>イ タクシー券申請者</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>248</td> <td>330</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 無料券申請者	人		141	193	189	200	イ タクシー券申請者	人			248	330	450	ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 無料券申請者	人		141	193	189	200																																										
イ タクシー券申請者	人			248	330	450																																										
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 運転免許証を自主返納した、満65歳以上で、市内に住所を有し、返納日から1年以内に申請した方。 タクシー事業に関しては、福祉タクシーと重複しないこと。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 65歳以上の高齢者の免許返納者（暦年）</td> <td>人</td> <td></td> <td>166</td> <td>243</td> <td>255</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 65歳以上の高齢者の免許返納者（暦年）	人		166	243	255	285	イ							ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 65歳以上の高齢者の免許返納者（暦年）	人		166	243	255	285																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 65歳以上の高齢者の運転による交通事故の防止	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 65歳以上の高齢者の交通事故（暦年）</td> <td>件</td> <td></td> <td>45</td> <td>53</td> <td>33</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 65歳以上の高齢者の交通事故（暦年）	件		45	53	33	30	イ							ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 65歳以上の高齢者の交通事故（暦年）	件		45	53	33	30																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 交通事故の防止	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 交通事故発生件数（暦年）</td> <td>件</td> <td></td> <td>181</td> <td>138</td> <td>129</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>イ 事故死者数（暦年）</td> <td>人</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ウ 負傷者数（暦年）</td> <td>人</td> <td></td> <td>222</td> <td>157</td> <td>144</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 交通事故発生件数（暦年）	件		181	138	129	120	イ 事故死者数（暦年）	人		2	4	7	0	ウ 負傷者数（暦年）	人		222	157	144	120	エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 交通事故発生件数（暦年）	件		181	138	129	120																																										
イ 事故死者数（暦年）	人		2	4	7	0																																										
ウ 負傷者数（暦年）	人		222	157	144	120																																										
エ																																																
オ																																																
(2) 総事業費の推移																																																
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			地方債	千円	0	0	0	0																																								
			その他	千円	0	0	0	0																																								
			一般財源	千円	0	0	0	0																																								
			事業費計(A)	千円	0	0	1,387	2,204	3,500																																							
	人件費		正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1																																							
			延べ業務時間	時間	0	150	200	200	200																																							
			人件費計(B)	千円	0	623	830	834	834																																							
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	623	2,217	3,038	4,334																																							

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成28年度から、高齢者の運転による交通事故発生割合が増えていることから、いちごタクシーとコトベリー号の共通無料券の交付事業開始。（利用期限1年間） 平成29年度から、民間タクシーの利用券基本料金を月2枚交付するタクシー事業を追加した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	いちごタクシーとコトベリー号では、目的地が指定されているため、個々のニーズに対応できない。 その補完的役割として、タクシー事業を追加。（平成29年4月開始だが、平成28年度に免許証を自主返納した高齢者も対象としている。） 全国的な高齢者の交通事故の報道により、高齢者の運転免許証自主返納の意識は高まっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の交通事故を減らすとともに、公共交通の利用促進を図ることは市の施策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 運転に不安を感じている高齢者に対し、運転免許を返納しやすい環境を作り、交通事故防止を図る。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 高齢者の運転による交通事故の防止。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 免許返納した高齢者の交通手段を補っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 高齢者の運転による、交通事故発生割合が増加する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 無料券およびタクシー利用券の交付事務のみである。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 運転免許証を自主返納した、高齢者である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							